

防災

南海トラフ巨大地震に備える

特集 能登半島地震から学ぶ



能登半島地震に伴い、当町消防本部より、緊急消防援助隊として救助活動や後方支援活動を、水道課から能登町に給水活動を行いました。P2.3に掲載の写真は消防本部が活動中に撮影したものです。



目次

- ・P.4…能登町へ派遣した職員に被災地の話を聞く
- ・P.5…非常用持ち出し袋のチェック
- ・P.6…災害用トイレの使い方
- ・P.7…ペットと同行避難
- ・P.8…緊急情報の受け取り方

令 和6年1月1日に石川県能登半島を震源とする大地震が発生しました。この地震により石川県輪島市や志賀町で最大震度7を観測した他、能登地方の広い範囲で震度6強や6弱の揺れを観測し、約300人の尊い命が失われ、約12万軒の住家被害が起きました。また、地震に伴う津波被害や輪島市の大規模火災、水道や電気といったライフラインの寸断などさまざまな面で被害が発生しました。

今回の特集では、能登半島地震において問題となった件を中心に取上げます。近い将来、起こるといわれている南海トラフ巨大地震。先月には令和元年（2019年）運用開始以降初めて「南海トラフ巨大地震臨時情報」が発表されました。改めて、自分や家族のために日頃どんな備えができるのかを考えてみませんか？